

国際化に関する取組について

国際課

第1 国際化に関する懇談会の開催について

今後の国際化施策の方向性を検討するため、有識者の方と意見交換を行いました。

- 1 日時 平成26年1月31日（金）午後1時30分から3時30分まで
- 2 場所 長野県庁 議会棟 第一特別会議室
- 3 主催 （公財）長野県国際化協会、長野県
- 4 参集者 有識者11名（名簿は裏面のとおり）
- 5 主な意見

（1）外国籍の方も暮らしやすい社会にしていくためには？

- ・日本人は外国籍の方を受け入れることに慣れていない。
- ・異なるものを受け入れることや当たり前だと思っていることが、他の文化では違うことを体験することが大切。
- ・外国籍の方ともっと接触する機会を増やすことが必要。その際、「食」を絡めることが効果的。

（2）長野県内の留学生の方に長野県の魅力をもっと知ってもらうためには？

- ・交流や支援を留学生に集中すると産業界や観光業界に広がりが見られる。
- ・在学中に長野についてブログを書いてもらうなど、長野県に関係することに携わってもらう。
- ・県内の中小企業の創業者の体験談を聞く機会があってもいい。
- ・県内農産品のモニタリングツアー等を企画しては。

（3）日本の子供たちにもっと外国に目を向けてもらうためには？

- ・小中学生に外国籍の方が働いている職場を見学してもらいたい。
- ・一校一国運動をリニューアルし、一つの学校が一つの国を決めて交流することを検討しては。
- ・型にはまった教育のため、好奇心が欠如している。知的好奇心の活性化は、家庭・社会教育で取り組まなければならない。

第2 外国籍県民等タウンミーティングの開催について

外国籍県民等の課題やニーズを把握するため、外国籍県民等との意見交換を行いました。

- 1 日時 平成26年2月4日（火）午後6時～8時
- 2 場所 飯田市松尾公民館
- 3 意見交換

（1）参加者 知事及び外国籍県民等34名

（2）テーマ 多文化共生社会の実現～外国籍県民の自立と社会参加について～

（3）主な内容

- ・多文化共生の方向性を示して欲しい。
- ・常識の違いを理解するために、異文化交流の機会をもっと増やしてもらいたい。
- ・学習言語が習得しづらい。高校進学が困難な状況なので、日本語教育を推進してもらいたい。
- ・多言語による情報提供を一層充実してもらいたい。



第3 今後の方針

- ・有識者や外国籍県民等との意見交換を継続して行う。
- ・意識啓発や日本語学習の支援等、多文化共生の方向性を示すため、多文化共生推進指針を策定する。
- ・（公財）長野県国際化協会と連携して、外国籍県民等との交流の機会を増やすとともに、留学生の企業訪問をはじめとする様々な施策を展開する。

国際化に関する懇談会参集者名簿

(敬称略、50音順)

氏名	所属・役職
奥村明子	ジェトロ長野所長
土田暎子	信州大学工学部特任准教授
仁田知樹	駒ヶ根青年海外協力隊訓練所長
野原莞爾	綿半ホールディングス(株)代表取締役社長
野原 光	長野大学 学長
平林聖子	福源酒造(株)
藤巻 進	軽井沢町長
吉池達悦	日置電機(株)取締役会長

久世良三	(公財) 長野県国際化協会理事長、(株)サンクゼール代表取締役
池田防守	(公財) 長野県国際化協会相談役、(株)サンクゼール総務部長
野池明登	長野県観光部長